

もくもくエコランド2021 第4回森林環境学習フェア開催

10月30日(土)～31日(日)に「もくもくエコランド2021第4回森林環境学習フェア」が高知市の中央公園で開催されました。本フェアは、県の森林環境税を活用し、県民の皆さんに森林環境保全の重要性を理解し、深めていただく機会として、毎年開催されています。

オープニングの式典では、主催者等の挨拶や祝辞に続き、丸太カットにより開会となりました。恒例の餅まきは、コロナ禍の為、引換券による交換での振る舞いとなりました。

高知県産材の普及を目的としたこの催しは、住宅関係や木製品を取り扱う企業など、様々な業種のブースが29団体あり、四国森林管理局のブースでは、パネル展示と高知中部森林管理署の森下嘉晴さんの「イラスト入り森の学習用下敷き」、北海道森林管理局の平田美紗子さんの「お山ん画」、「ジュニア農林水産白書」等を配布することで、森林の役割について普及を図りました。

2日目は、来場いただいた方の中には、「1日目にお山ん画」を貰って、自宅に帰って読んで、「凄く良く書いている事を伝えられた。」と翌日わざわざ足を運んで来られた方もいらっしゃいました。

この二日間のイベント来場者は、5千人で、多くの人々に、木のぬくもりや良さを伝えることが出来たと思います。



秋の「緑の募金」ご協力ありがとうございました

秋の「緑の募金」は、9月1日から10月31日までの期間に皆様から協力頂きました大切な緑の募金総額は4,374円となりました。皆様本当にありがとうございました。

庁内に設置した樹木名版 の中から二種類の紹介 ラカンマキ

マバリー-APG等分類体系による **マキ科** **マキ属**

エングラー分類体系による **マキ科** **マキ属**

Podocarpus macrophyllus

漢字名 **羅漢楨** 別名 **マキ** 常緑高木
雌雄異株 イヌマキの変種



ゴヨウマツ

マバリー-APG等分類体系による **マツ科** **マツ属**

エングラー分類体系による **マツ科** **マツ属**

Pinus parviflora

漢字名 **五葉松** 別名 **ヒメコマツ** 常緑高木



「業業務研究発表会」開催

11月18日(木)林野庁において、令和3年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。四国局から、3部門に3課題を発表しました。

森林技術部門

「UAVを活用した林分材積調査の実証について」

平松 龍之典(四万十署)

村上 大輝(農林水産省輸出・国際局(元四万十署))

武山 泰之(四万十市 農林水産課(元安芸署))

森林ふれあい部門

「ふるさと自然を育む大栃の治山 ～先人達の功績から学ぶ～」

黒岩 玲子(嶺北署(元高知中部署))

前田 聖人(高知中部署)

森林保全部門

「安政の森における多様な森林づくりの取組について」

木村 有希 中尾 栄二(愛媛署)

発表された皆様、お疲れ様でした。

編集後記 新春 1月19日(水)に局研究発表会を開催
寅年もよろしくお願ひ申し上げます。(技術普及課一同)

もくもくエコランド2021 第4回森林環境学習フェア開催



恒例の丸太カットで開会



橋本局長（祝辞）



四国森林管理局のブース
大勢の方々がブースを訪れた



四国森林管理局のブース
満員御礼

30日、31日の2日間 お疲れ様でした。